

# BEST TEACHING AWARD 2021

Vol.6

THE CHOICE IS YOURS.

学生による学生のための授業パンフレット

駒澤大学FD推進委員会  
学生FDスタッフ



What is the best for you!

2021年度

## 学生が選ぶベスト・ティーチング賞 受賞科目インタビュー

### ● 専門教育科目

科目名	教員名	ページ
行政法	高田 実宗 先生	5
キャリア・デザインa/b	川村 稔 先生	9
流通論基礎a/b	吉村 純一 先生	13
行政法a/b	宮尾 亮甫 先生	17

### ● 全学共通科目

科目名	教員名	ページ
心理学の基礎/心と体を考える	加藤 博己 先生	21
法学の基礎/日本国憲法	金澤 誠 先生	25
自然と宗教(1)/(2)	別所 裕介 先生	29
仏教と人間	矢野 秀武 先生	33

専門教育科目  
受賞科目インタビュー

※インタビューおよびコメントは、学生FDスタッフが抜粋・整理したものです。



「キャリア・デザインa/b」

経済学部  
川村 稔 先生

**Q.受賞の感想を教えてください！**

正直、すごく嬉しいです。会社員生活が30年を越してきたので、社内でもらってきたのとは違う、学生から投票していただいたことがとても意外でした。そういう意味でとても嬉しいです！

**Q.思い当たる要因があれば教えてください！**

大学の授業も関係してきますが、雇用側で適性検査を30年間作ってきたので、それを使ってどういった人が職場で活躍できるのかを分析してきました。それをもとに1年生の時にできること、した方がいいことを、一貫してアドバイスをさせていただいています。中々こういったキャリアを持っている人は珍しいと思うので、特徴的なのではないのでしょうか。

ただ、それが思い当たる要因なのかはわかりません。どうなのでしょうね笑 また、学生からの相談は全てフォローしています。授業は337名の方が履修してくれてるのですが、毎回多くの学生がメールをくれます。1年生の時の履修の方が、2, 3年生の就職活動や学生生活で悩んだときに、私に相談されることがあるんですね。そういうときも必ず何かしらの方法で応えています。私に対応できないものは学校に対応してもらうようにしています。そういった意味では、300名を超える講師としては、手厚くさせていただいていると思います。思い当たる要因というよりは、喜ばれている要因かなと思います。

**Q.生徒の相談に乗るとおっしゃっていたと思うのですが、個別に対応するのか、授業を通して皆に悩みを共有して回答するのかお聞きしたいです！**

例えば、色々な資格がありますよね。英語とか、簿記とか…1年生の時から時間をかけて取るものはやはりありますので、それについて「資格を取った方がいいのか？」「資格は取得数を見られているのか？」という質問が非常に多かったです。そういった質問に対して、雇用側の面接官を指導した立場として、「社会ではこのように資格は活きますよ。」とか、資格取得ではなく、過程がどのように評価されるのかをお伝えしています。そういう意味で、他の方に共有できる物は、お話をさせていただいています。

あとは、「コロナ禍でできることは何なのか」という質問が1年の間で多く、そのような質問に対しても、同じように全員に共有できるテーマなので、人事の方と相談した上でアドバイスさせていただきました。

個別対応というのは、個人的な悩みや家庭的な事情ですね。これに関しては、個人にメールか、大学で対面に来ている時は、授業開始前に会ったりしてアドバイスさせていただきました。

**Q.オンラインと対面の授業の併用において**

**苦勞した点についてお聞かせください！！**

学生の表情から、学生の反応（気持ち）を理解するのが最も苦勞します。自己満足で終わらないように、学生視点をいかに持つかを考えています。経済学部の先生から、画面で見やすい資料などアドバイスをもらうようにしました。

**Q.学生視点を持つ際に意識していることは何でしょうか？**

経済学部の他の先生にもご協力いただいて、最初のころ、パワーポイントの資料をUPするときに「文字が小さい」とかわからなかったんですね、なので、最初の頃は常に他の先生に授業を見ていただいていた。また、私自身スマートフォンを用いて、同時に私の授業している内容を見ながら、学生がどのような画面で見ているのかを確認しながらライブ配信をさせていただきました。その他にも、タイムラグの関係で声や画像が遅れることがありますので、2年やっても苦勞は絶えないですね。早すぎても遅すぎてもよくないので、学生には電波時計を見せながら乗り越えました笑

### Q.今後の意気込みをお願いします！

今まで、雇用側にかかわってきた30年間のキャリアの歴史をすべて学生に伝えたいなと思います。基本的に、人物を評価したり分析するのはあまり変わらないんですよね。その部分についてみなさんに惜しみなく伝えたいと思います。自分の将来を考えると、早いうちに自分自身のことを客観的に分析したり見るための視点を持っていただきたくアドバイスしたいなと思います。

### Q.学生さんへのメッセージをお願いします！

適性検査を作る会社に勤めた人間という非常にユニークな経歴を持っていますので、その経歴を生かして、一人一人の適性などをアドバイスさせていただきたいです。業種・業界などで活躍するための要件も把握していますので、そういう意味では自分自身の将来を考えるとときのヒントになるようなメッセージを発信していきたいと思います。大学に来た時などには、声をかけていただきたいですし、メールをいただければアドバイスはさせていただきますと思います。

私も駒澤の卒業生なので、学生時代から好きな駒澤大学にかかわれるのはすごく幸せです。みなさんも駒澤大学にいらっしゃるご縁を一緒に活かしながら、いい人生を送るためのお役に立ちたいです。また、いい社会をつくるためにも、ぜひとも一緒に、前に向かって歩んでいきたいなと思います。

#### ◆インタビュー（学生FDスタッフ）のコメント

川村先生とお話させていただいて、本当に学生思いの素晴らしい先生だなと思いました。採用面接官を30年間務めていた経験を授業で活かすといった、ここでしか受けられない授業が駒澤大学にあるのがとても素晴らしくてすごいことだと思います。

私も、1年生に戻れて経済学部なら、ぜひ、先生の授業を受けたかったなと強く思いました。インタビュー中も笑顔が絶えずにお話のできたので楽しかったです。貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

(担当：岡本)

## ～受講生からの投票コメント～

◆授業内容が先生のユーモアにあふれており、飽きずずっと見ていられる。わかりやすい図を使って説明したり、重要事項での説明では複数回繰り返したりと、全体的にとんとん拍子で進むテンポの良い授業で、非常にわかりやすく聞きやすい授業だった。

◆社会に出て知っておくべき知識や面接でよく聞かれることなど、自分が将来社会に出て活躍できる人間になるための授業であると実感できる授業であるから。

◆先生の実体験に基づいた話が多いため、自分の体験や考えとの結びつきを実感することができた。また、質問にはメールで一つ一つ丁寧に答えてくれて、とても質問しやすかった。

◆就職先について、金融業、公務員など分野を分けて細かく説明してくれるので、わかりやすい。また、外部の起業経験者の方には仕事のやりがいを見つける方法などを教えてもらい、将来に役立てられると感じた。

◆将来の就職の時に役に立つ情報や先生の社会人としての経験談がとても興味深かった。

◆毎回のレポートでニュースの内容を絡めているので、意識してニュースを見るようになった。また、課題に対しての解説がわかりやすく、新しい視点で仕事の側面を見ることができる。

#### ■多かった意見（選択肢）

- ①自分の進路選択の役に立つ
- ②知識の幅が広がる
- ③スライドや教材にイラストなどを使い、  
わかりやすく解説してくれる

(構成担当：岡本)